

産業標準案作成対象テーマ コメントシート

No	規格番号	委員名	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	改正 C5381-12 及び C5381-331	渋谷隆 3	対応国際規格である、IEC 61643-12 及び IEC 61643-331 の規格名称の第 1 階層が異なります。JIS の規格名称は対応国際規格名称の階層と合わせるものが原則ですが、問題はないのでしょうか? IEC/TC37/SC37A 及び SC37B の問題かもしれませんが。		<p>規格名称に関しては、JIS C 5381-331 を次の名称に変更します。JIS C 5381-12 は変更しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JIS C 5381-331 (変更前) 低圧サージ防護デバイス用金属酸化物バリスタ (MOV) の試験方法 (変更後) 低圧サージ防護用部品-第 331 部: 金属酸化物バリスタ (MOV) の要求性能及び試験方法 <p>名称変更の背景は、次のとおりです。 我が国から SIT (surge isolation transformers) 「IEC 61643-351(JIS C 5381-351、IEC 61643-352 (JIS C 5381-352) 」を SC37B に提案したときに、SIT が非線形部品ではないことから、変更前の「低圧サージ防護デバイス用部品」のままでは低圧防護デバイスの定義に記載の「・・・少なくとも一つ以上の非線形部品を含む・・・」に該当しなくなるため、最新の SC37B のスコープを変更して「To prepare international standards for components for low-voltage surge protection. These SPCs (surge protection components) are used in power, telecommunication and/or signalling networks with voltages up to 1000 V a.c. and 1500 V d.c.」 「低圧サージ防護用部品-第 XXX 部」に変更しています。 そのため、SC37B での SIT 発行以降の規格はすべて変更されていくことになります。</p>

産業標準案作成対象テーマ コメントシート

No	規格番号	委員名	コメント	変更提案	検討結果・対応案
2	改正 C61760-4	渋谷隆 7	対応国際規格の AMD は 8 ページで構成されているようです。対応国際規格は既に Consolidated version (66 ページ) が発行されているようですが、追補だけを発行するよりは、IEC 61760-4:2015+AMD1:2018 として統合版として改正する方が良いのではないのでしょうか？	追補だけを作成するよりも、統合化版を作成することを提案します。	統合版として改正することも検討しましたが、市場ニーズから国際規格との整合を迅速に図る必要があります、今回は追補として発行することとしたものです。

以上